

モンゴル経済トピック（2011年3月）

今月の主なトピック

- アイバンホー・マインズ社は、オヨートルゴイ鉱床において年間当たり銅 54.4 トン、金 20.3 トン及び銀 93.3 トンを採掘する予定。（経済）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- タバントルゴイ炭田西ツァンキ鉱区の開発に係る応札資料評価作業部会は、同開発に応札した企業から、以下の6つの企業を選定し、リストを発表した。米国 Peabody Energy 社、中国神華社及び日本三井物産によるコンソーシアム、ロシア鉄道と日本企業（住友商事、伊藤忠商事、双日及び丸紅）及び韓国企業によるコンソーシアム、オーストラリア・エクストラータ社、ルクセンブルグ・アルセロール・ミッタル社、ブラジル・バーレ社。（US7）
- 14日、バトbold首相と閣僚らは、商工会議所において、ビジネス経営者らと意見交換を行った。モンゴル政府は今後、中小企業発展のために1000億トグログの国債発行を計画しており、これにより約3万人の雇用創出が見込まれる。（AE15）
- 1日から3日まで、フランスで開催された鉱山活動の透明性に関する会議において、モンゴルの鉱山活動の透明性は年々改善されていると報告された。（MT16）
- フランスを訪問したデムベレル国家大会議議長は、ルルーシュ仏貿易担当長官と会談し、農牧業分野及びモンゴル「モンアトム」社及びフランス「アレバ」社によるウラン鉱山開発分野における協力の意思を表明した。また、アコイエ仏国民議会議長と会談し、両国及び両議会の協力関係の強化について合意した。（MT17）
- アイバンホー・マインズ社及びBHP ビリトン社はオヨートルゴイ銅・金鉱床から北に10キロ離れた「ホイド・オラーン・ハド」地区において、金・銅・モリブデン鉱床を新たに発見したと発表した。（MT17）
- 2011年3月15日時点におけるモンゴルの貿易状況は次の通り。
 - 貿易総額は13億3980万米ドル
 - 輸出総額は5億3940万米ドル
 - 輸入総額は8億40万米ドル
 - 貿易赤字は2億6100万米ドル（TR18）
- アルタンホヤグ第一副首相（欧州基準の導入に係る作業部会長）は、マルクス駐モンゴル欧州連合大使（兼轄）及びリージン欧州連合モンゴル担当

- 課長と会談し、欧州基準をモンゴルに導入するために供与された 800 万ユーロを食品安全、貿易・投資、鉱山分野のガバナンス等の分野に活用したい旨述べた。(MT18)
- アイバンホー・マインズ社は、オヨートルゴイ銅・金鉱床において最初の 10 年間には、年間あたり銅 54.4 トン、金 20.3 トン及び銀 93.3 トンを採掘する予定と発表した。(ZM21)
 - 22 日、外交・貿易省において関税協議会会合が開催され、輸入野菜に対する関税の見直しについて協議し、国内における野菜生産の安定性確保及び農家に対する支援を目的とし、輸入野菜に対する関税を年間 15%に引き上げるべきとの見解が出された。(TR23)
 - ナムジム・モンゴル石油社長及び椎木東洋エンジニアリング・コーポレーション取締役常務執行役員との間で、ダルハンオール県で建設予定の製油所の設計図作成に関する契約への署名が行われた。(ZM28)

2. 経済協力

- ドイツ政府は、モンゴルに対し、鉱山分野におけるガバナンスの改善、人材育成及び協力に関して 300 万ユーロの支援を実施する予定。(MT3)
- 米ミレニアム挑戦基金は、モンゴルの 7 つの職業訓練センターに対し、総額 9 億 6500 万トログ相当の鉱山開発、道路建設及び農業用の機材（計 13 種類、18 台）を供与することを決定した。(ZM13)
- 14 日、城所卓雄駐モンゴル日本国特命全権大使、ツェレンジャブ・フブスグル県知事との間で、日本政府「草の根」人間安全保障無償資金協力による「フブスグル県トゥムルボラグ郡幼稚園改修及びボイラー室建設計画」プロジェクトに関する署名が行われた。(UN15)
- 日本政府の円借款による「中小企業支援・自然環境保全計画」の第 2 フェーズが開始された。同計画は JICA を通じた 50 億円の借款（据置期間 10 年、償還期間 40 年、年利 0.6%）により実施される。(US16)
- 16 日、城所卓雄駐モンゴル日本国特命全権大使及びセレンゲ県知事、ホブド県知事、ウブルハンガイ県知事、チンゲルテイ区長との間で、日本政府の「草の根」人間安全保障無償資金協力による「セレンゲ県フデル郡第 23 番学校改修計画」、「ホブド県チャンドマン郡の幼稚園改修計画」、「ウブルハンガイ県ハラホリン郡の幼稚園建設計画」、「チンゲルテイ区医療施設改修計画」プロジェクトに関する署名がそれぞれ行われた。(AE17)
- 17 日、ザンダンシャタル外交・貿易大臣及びセシン国連モンゴル常駐コーディネーターとの間で、安定的かつ平等な経済発展、貧困撲滅、生活基盤改善など人間の安全保障に関する国連の「対モンゴル開発支援範囲規定書」プロジェクトの署名式が行われた。(UN18)
- 韓国を訪問したバトボルド首相は、李明博・韓国大統領と会談し、韓国政府無償資金協力により実施されるヤールマグ付近新住宅地区の給水施設建設計画及び国際基準に沿った医療診断センターの建設計画の覚書に署名を行なった。(AE29)

- 日本政府無償資金協力により実施された「ダルハン市給水施設」の引渡式がダルハン市上下水道公社にて行われた。案件総額は145億トグログであり、同プロジェクトの実施により設備が自動化され、ダルハン市民への安定的な水供給が確保されることとなった。(MT31)
- 28日、フレルバートル鉱物資源・エネルギー省事務次官とフェリクス駐モンゴル・スイス開発エージェンシー代表との間で、個人金鉱採掘者の管理、採掘作業の安全確保等の改善を目的とする「安定したマイクロ鉱山フェーズⅡ」プロジェクトの署名が行われた。(MP31)
- 30日、エンフボルド副首相は、モンゴルの官民による総額21億6700万トグログの義捐金を城所駐モンゴル日本国特命全権大使に引き渡した。同大使は、困難な時期におけるモンゴル政府及び国民の迅速な援助活動に対し謝意を表明した。(MT31)

3. 金融

(特記事項なし。)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

(特記事項なし。)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

- ウブルハンガイ県ボグド郡で複数の牛に狂牛病の症状が確認されたため、同県非常事態局は狂牛病の可能性のある牛を全て殺処分した。現場付近を制限区域とするとともに、ウランバートル市から専門家らが派遣された。(MM8)
- 17日、2010年秋冬のドルノド県、スフバートル県及びヘンティー県における口蹄疫の感染拡大により、6ヶ月間禁止されていた同3県からの食肉製品の輸送が解禁された。(MM21)

9. 保健医療

(特記事項なし。)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

12. その他

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードウル紙、MM モンゴリン・メデー紙、
TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙、NT ニーゲミーン・トリ紙、
MP ウグルーニー・ソニン、MT モンツァメ通信)

(了)